



復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ニュースレター

撓まず 屈せず がんばろう釜石!!

復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました



開催日	平成30年12月19日(水)
時間	18:00~20:38
場所	片岸集会所
参加人数	37人

議題	1. 本日の主旨とこれまでの経緯 2. まちづくり計画の進捗状況及びスケジュールについて 3. 住宅再建に係る補助制度について 4. 片岸公園について 5. 片岸8号線の道路改良事業について 6. 集会所及び消防屯所の整備について 7. 鵜住居地区商業施設の整備について	8. 鵜住居駅前地区公共施設(うのすまい・トモス)の進捗状況について 9. ラグビーワールドカップ2019釜石開催の取り組みについて 10. 鵜住居川水門及び片岸海岸防潮堤について 11. 根浜海岸の砂浜再生事業について 12. 国道45号電線共同溝工事について 13. 意見交換
----	---	---

当日はこれらの議題について担当より説明いたしました。出席された皆さまからは、鵜住居川水門及び片岸海岸防潮堤について、また根浜海岸の砂浜再生事業について等々々々ご意見、ご質問をいただきました。

議題の概要

最新の土地利用計画について

片岸地区 計画図

【計画の考え方】

- ◆安全・安心の確保
 - 市街地は平均1.1m程度高上げ
 - 国道45号を円滑な線形に整備
 - 水門及び防潮堤(標高14.5m)を整備
 - 公園は、市民の利便性を考慮し配置
 - 道路整備に併せて、上下水道施設を整備
 - 宅地が区画道路に接続するように配置
- ◆公共施設の整備
 - 復興公営住宅の整備(集合17戸;県、戸建18戸)
 - 集会所、消防屯所の整備
- ◆産業の再生
 - 企業の立地
 - 国道45号沿線の事業所等の立地
 - 漁港の復旧、漁港施設の整備、漁船の確保、養殖漁場や漁業関連施設等整備

※現時点での計画であり、今後の手続き等において変更があります。

工事スケジュール

平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
現在															
片岸地区															
土砂搬入															
撤去工															
造成工事、道路工事															
工事完成後、宅地引渡し(順次)															
汚水処理場 H28.12から一部仮設施設で供用開始															
上水道・下水道工事 ※随時供用開始															
水門・防潮堤 H31.8 津波防護機能発現															
国道45号工事															
復興公営住宅(戸建):18戸															
復興公営住宅(県営:集合):17戸															
県道吉里吉里釜石線工事															
片岸公園整備															
集会所・屯所整備															
区画整理事業期間															
※状況に応じて変更することがあります。															

鵜住居地区商業施設の整備について

1. 商業施設の概要

鵜住居地域の市民生活を支える商業機能の回復を図るため、津波・原子力災害被災地域雇用創出補助金(商業施設復興整備補助金)を活用し、鵜住居地区に商業施設を整備するもの。

(1) 施設名称 鵜住居地区商業施設
(2) 建物構造 鉄骨造平屋建
(3) 建築面積 1506.72㎡
(4) 事業主体 釜石まちづくり株式会社

2. これまでの経緯、今後の予定

平成30年6月	鵜住居地区まちなか再生計画認定
7月	津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金申請
9月	同補助金採択
10月	鵜住居地区商業施設実施設計開始
平成31年1月	鵜住居地区商業施設着工予定
夏頃	オープン予定

鵜住居駅前地区公共施設(うのすまい・トモス)の進捗状況について

釜石折りのパーク
いのちをつなぐ未来館
8号公園
駅前広場
駅前ロータリー
駐輪場
市民体育館
駐車場
鵜の郷交流館
鵜住居駅 H31.3.23 運行開始

このようなご意見・ご質問をいただきました



根浜海岸の砂浜再生事業に関して、片岸海岸から砂を採取すると、片岸の防潮堤が波浪時に被災しやすくなるのではないかと。

新防潮堤は、粘り強い構造でつくっており、さらに新防潮堤と旧防潮堤の間を土で埋めてより安全にします。また、すべての砂を取り去るのではなく、海面より上の範囲のみを採取しますので、防潮堤への影響はありません。

新防潮堤と旧防潮堤の間の溝に、土砂を投入するというようなことを聞いたのだがどうか。

新防潮堤と旧防潮堤の間が死に水になっているため、この部分に土を埋めることで新防潮堤の前面が厚くなり、より洗掘しにくい強固な構造物になります。

土砂で埋めたところにスペースが出来るが、そこを将来的に何かに活用するという提案はないのか。

安全の確保ということで土を埋める事をまず先行したいと思っておりますので、その利用については別途検討いたしまして、プランができた段階でまた地元の方々にご相談したいと考えております。

片岸海岸から砂を採取した場合、現在見えている砂浜が水面下になって見えなくなるのか。

平均的な海面の高さを基準に砂を採取しますので、潮位によっては、砂浜は海面下になり見えなくなります。

集会所の維持管理費について、地区の世帯数が減少している現状では地域によって余りにも格差があり過ぎる。これはぜひ改善して頂きたい。

被災割合に応じて防犯灯の電気料金等の補助をしておりますが、併せて維持管理費等についても、他の地区も含めて広く議論をしていかなければいけないと考えております。

仮設の集会所をそのまま残していただけないか。

リース会社に交渉はさせていただいたのですが、現実としては基礎工事や各種手続、法的な問題などをクリアしなければ、残すことができないということですので、ご理解をお願いいたします。

この集会所の場所は津波浸水区域だったが、今後避難する場合こちらを避難場所とするのか、将来的には別の場所につくるのか。

現時点では、高台に新たな施設は非常に厳しい状況です。鵜住居小学校、釜石東中学校、それから南三陸国道事務所も避難場所としてお借りすることが出来ていましたので、早めの避難をしていただく事が大切だと考えております。色々な考えを組み合わせながら避難環境の整備をしていくというのが現時点での考え方になります。

誘致企業の事業の状況はどうなっているのか。

誘致企業には事業を継続するのか撤退するのか、年内に意思表示をして欲しいということ、また、継続、撤退にかかわらず未払いの土地代の支払い計画をきちんと立ててくださいという話をしております。12月26日にまた誘致企業と協議をする事になっておりますので、年明け1月以降に地権者の方々に改めて説明する機会を設けられればと考えております。

工業専用地域の開発計画を市としてはどのように考えているのか。

長年の経過を踏まえ、都市計画用途区域の見直しはどうか等の法的なこと、災害危険区域にしたほうがいいのかということ、または農工法における指定をどのようにして外すか、もしくは外さないか等のこと、これらをきちんと考えて対応し、皆さんと一緒に話し合い、問題解決しながら大きな方向性を見出していければと考えております。

国道の東側方面に横断歩道の設置を検討してもらいたい。

横断歩道については基本的に警察で設置するものになっていますが、地域の要望を受けて、市からも改めて警察及び公安委員会に要望したいと思います。

街路灯の整備について、国道沿いが真っ暗で、子どもたちの通学が大変な状況にある。なんとかして欲しい。

三陸国道事務所としては、基本的には信号のある交差点や横断歩道については必ず設置しなければいけないということで、すでに設置しております。それ以外に関しては直ちに対応するというのは難しいところです。市の街路灯となると、国や県が管理している道路には設置できません。例えば町内会で管理する防犯灯を設置する方法等もございますので、三陸国道事務所、町内会及び市で協議しながら最善の方法を考えてまいります。

復興事業については、可能な限り皆さまの期待に応えられるよう進めて行きたいと考えております。

1日も早い復興事業の完了に向け、今後も全力で取り組んで参りますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



復興計画の事業進捗等については、「広報かまいし」や市のホームページでも公開しております。併せてご覧ください
<http://www.city.kamaishi.iwate.jp>

協議会等に関するお問い合わせ

釜石市復興推進本部 TEL:0193-27-8479
FAX:0193-22-2686